

# Cente Technical Information

|      |                                               |     |     |     |            |
|------|-----------------------------------------------|-----|-----|-----|------------|
| 発行番号 | 007-0001                                      | Rev | 第1版 | 発行日 | 2012/09/18 |
| 題名   | NTPサーバとの通信に時間がかかる環境で、古い時刻が返る現象について            |     |     |     |            |
| 情報分類 | 障害情報                                          |     |     |     |            |
| 適用製品 | ・Cente TCP/IPv4オプション SNTpC Ver.1.00 – Ver1.10 |     |     |     |            |
| 関連資料 | なし                                            |     |     |     |            |

## 【該当するユーザ環境】

PPP経由の通信など、NTPサーバとの通信に時間がかかる環境でSNTpCを使用しているユーザ。

## 【障害内容】

SNTpCのAPIは現在時刻を返しますが、これは「要求を送信した時刻」を現在時刻としていました。NTPサーバまでの経路がEthernetなど、直ちに応答を受信できる環境であればほとんど影響を受けませんが、PPP経由などNTPサーバに要求を送信して応答を受信するまでに数秒かかるような環境の場合、返り値で得た現在時刻はそれだけ以前の時刻となります。

## 【発生理由】

NTPサーバとの通信に時間がかかる環境を考慮していませんでした。

## 【回避方法】

- ・APIを呼び出すアプリケーション側で、APIを呼び出して返ってくるまでの時間を、返り値に加算する。
- ・ソースコードを修正し、現在時刻を「応答を受信した時刻」にする。  
(改変箇所については、営業担当またはsupport@cente.jpまでお問い合わせください。)

以上